

SNA 年次推計における「電気照明器具」及び「民生用エアコンディショナ」について

令和元年 6 月 14 日
国民経済計算部

1. 電気照明器具

前回部会にて、「国民経済計算(SNA)」における電気照明器具の内訳である「白熱電灯器具(白熱)」の伸び率が差異が出るのは、第二次年次推計で用いている工業統計では白熱にLEDが入っているが、第一次年次推計で用いている「生産動態統計(生動)」の同品目では入っていないことが影響しているのではないかと指摘があった。

このため、改めて電気照明器具の推計について検討を行った。

- ・ 「工業統計(工業)」においては、LEDが各分類(特に「白熱電灯器具(白熱)」と「その他の電気照明器具」)に含まれているものと考えられるが、生動においては2013年以前はそもそもLEDが把握されておらず、電気照明器具全体として見た場合には過少となる。
- ・ 生動では、2014年以降、LEDのみを把握する品目を新設している。そこで、生動の白熱に、生動のLEDを加えて電気照明器具の推計を行うことが考えられるが、これらに工業を組み合わせると、工業の各分類(特に「その他の電気照明器具」)には既にLEDが含まれることから、逆に電気照明器具全体として見た場合には過大となる。

上記を踏まえると、現段階では引き続き工業を使用することが適切と考えられる。他方で、これを前提に次期基準改定に向けて改定差の縮小を目指し、生動を用いている第一次年次推計の推計手法を工夫する。

2. 民生用エアコンディショナ

従前の議論を踏まえ、第一次年次推計で用いられている生動のうち、業務用と考えられる7.1kw超(23畳超、200V)を除いた系列と、概念上、民生用を対象としている工業(2次年次推計で使用)の動きを比較したが、改善はみられなかった。

このため、改めて民生用エアコンディショナの推計について検討を行った。

- ・ セパレート型について、生動は出力規模別の品目分類であり、用途とは対応していない。
- ・ 但し、小規模の出力の品目は大部分が民生用と考えられる。

以上を踏まえると、第二次年次推計に用いている工業の計数を前提として、第一次年次推計における生動の利用法の改善を図ることが適当と考えられる。このため、電気照明器具と同様に次期基準改定に向けて推計手法の工夫を図る。

3. インプリケーション

- ・異なる基礎統計間における分類の違いに対し、推計上の工夫で対処することには一定の限界がある。
- ・SNAの観点からは、基礎統計においてもできるだけ包括性、排他性を有する分類、需要別配分先の特特定が容易な分類（あるいは需要別配分先により即した分類）が適用されることが望ましい。
- ・今後移行していくSUT体系では、このような視点（生産物分類の整備・適用）がより重要になっていくものと考えられる。

（以上）